

## 事業評価票（監理団体への支出予算）

5	税務職員研修業務委託（主税局）	団体名	（公財）東京税務協会	区分	委託	28年度予算額	138,572 千円	27年度決算額	138,028 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>主税局が適正かつ公平な税務行政を推進するためには、職員一人ひとりに専門的な税務知識と実践的ノウハウを習得させ、「税務のプロ」を継続的に育成していかなければならない。（公財）東京税務協会は、高度で専門的な税務知識と実践的ノウハウを有している唯一の団体であることから、同協会に税務職員研修業務を委託している。</li> </ul>									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>税務職員に求められる能力、資質向上等を目的とした「研修」及び税務の高度な専門知識や調査技法等の習得を目的とした「実務研修」を円滑に実施した。＜平成27年度受講者数 延 19,835名＞</li> <li>アンケート結果の取りまとめや分析に基づき、主税局にフィードバックを行うことで、より効果的な事業実施に繋がっている。</li> </ul>									
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に質の高い研修を実施していくため、引き続き本協会に研修及び実務実習業務を委託する。平成27年度の実績を踏まえた経費精査を行う一方、「税務のプロ」を育成する上で必要な質を維持・向上していくためのカリキュラムの見直しを行う。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		29年度見積額						144,359 千円			
行政改革推進部評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、都民に信頼される適正・公平な税務行政を推進するため、主税局職員に専門的な地方税務の知識・調査技術等を習得させるものである。</li> <li>本事業では、課税調査業務や滞納処分の手法等、主税局職員の権限行使に係る事項を取り扱うことから、地方税務の専門機関として、都の税務行政を補完できる本協会への委託は妥当である。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価			
		拡大 充実		見直し 再構築		継続実施					
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>適正かつ公平な税務行政の推進のため、引き続き本事業を委託して職員の人材育成と専門能力の向上を図る必要性が認められることから、これまでの成果を踏まえ、見積額のとおり計上する。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		29年度予算額						143,194 千円			

  

6	トーキョーワンダーウォール（生活文化局）	団体名	（公財）東京都歴史文化財団	区分	補助	28年度予算額	24,498 千円	27年度決算額	20,620 千円		
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>本財団は、芸術文化団体等と協力し、伝統芸能・文化、演劇、音楽、美術・映像などの幅広い分野におけるフェスティバルの開催、子供や青少年等への体験プログラムの実施、市民の参画による地域の文化創造拠点の形成など、様々な事業を実施している。本財団と共催して事業を実施することで、本財団が有する事業ノウハウの活用等による円滑かつ効果的な事業展開を図るものである。</li> </ul>									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>東京の文化的魅力を発信し、全世界にアピールしていくために、次代を担う新進美術家に、都庁壁面及び都立美術館を活用し、作品発表の機会を創出するとともに、多くの都民に鑑賞の機会を提供した。</li> </ul>									
見積概要（局評価）		<ul style="list-style-type: none"> <li>上記成果を基に、今後は芸術文化団体等の自主的な取組に移行し、より効果的な事業展開を図ることとする。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		29年度見積額						- 千円			
行政改革推進部評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は都庁壁面等を活用し若手芸術家の発表の場として多くの都民に鑑賞の機会を提供し、一定の役割を果たしてきた。事業開始から16年が経過し、より世界での活躍を支援する国際的な新進若手芸術家の発掘の場へと転換を図っていく必要があり、本事業を終了することは妥当である。今後は、東京における芸術文化創造のさらなる促進を図るため、より効率的・効果的な事業展開に努められたい。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価			
		拡大 充実		見直し 再構築		継続実施					
財務局評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は都庁壁面等を活用することで次代を担う芸術家の発表の機会を創出するとともに、多くの都民へ鑑賞の機会を提供し、一定の役割を果たした。</li> <li>今後より効果的な事業展開を行う上で既存事業の見直しは必要であることから、本事業の見直しは妥当である。</li> </ul>						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		29年度予算額						- 千円			